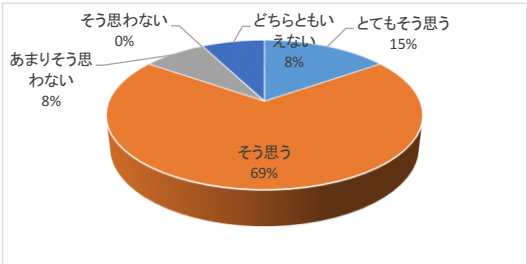


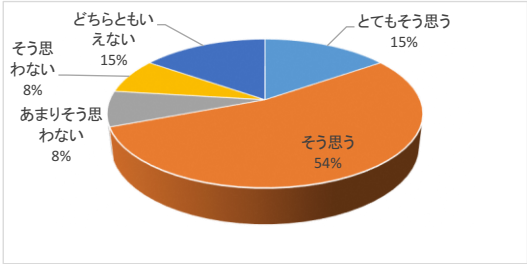
Q. 日々の授業をととして、以前より自信を持って英語を指導できるようになったと感じますか？

とても思う	2
思う	9
あまり思わない	1
思わない	0
どちらともいえない	1



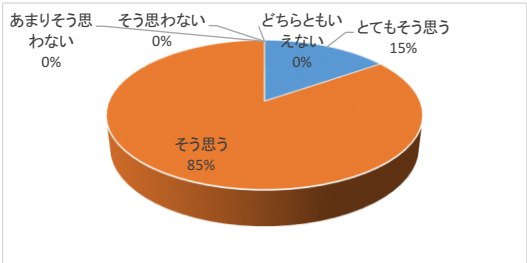
Q. 外国語指導助手(ALT)や専科教員と、打ち合わせを含め効果的なチームティーチング(TT)が展開できたと感じますか？

とても思う	2
思う	7
あまり思わない	1
思わない	1
どちらともいえない	2



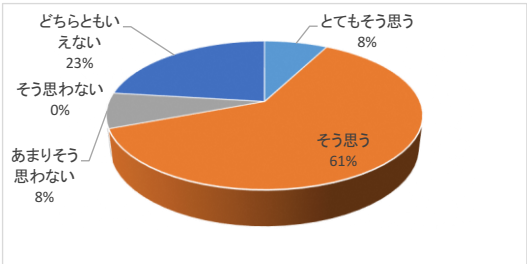
Q. 児童の外国語学習に対する肯定的な態度の向上を感じられましたか？

とても思う	2
思う	11
あまり思わない	0
思わない	0
どちらともいえない	0



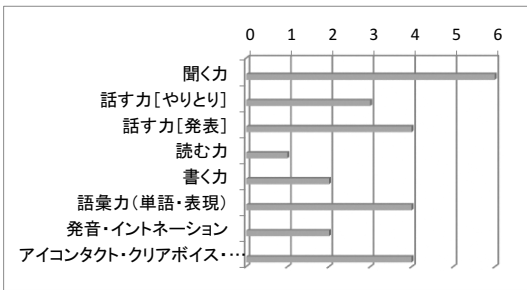
Q. 児童の中学校の英語学習に対する不安は軽減されたと感じますか？

とても思う	1
思う	8
あまり思わない	1
思わない	0
どちらともいえない	3



Q. 児童のコミュニケーション能力の中で、向上したと感じる知識・技能は何ですか？

聞く力	6
話す力[やりとり]	3
話す力[発表]	4
読む力	1
書く力	2
語彙力(単語・表現)	4
発音・イントネーション	2
アイコンタクト・クリアボイス・ジェスチャー等	4



Q. 教育課程特例校の実施に関して、ご意見やご感想があれば、ご記入ください。

小学校1年生から積極的に外国語を行うことで、中学校で自信をもって入学できる児童が増えるのではないと思う。6学年の担任をしているが、好きな教科ランキングで外国語が3位になりました。
外国語コーディネーター に色々ご指導いただき、前に比べて少しは自信をもって授業ができるようになりました。感謝しています。

教える内容が多く、難化しているため、内容をやりきるのにいっぱいいっぱいになってしまっています。小学校段階では、児童にまず「英語って楽しい！」と感じさせることが大切だと考えます。無理な英語教育は、英語嫌いを増やしてしまい、逆効果です。例えば、1,2年生の担任をしていて、「書く」活動を行うことでの成果を感じられません。そろそろ市の評価規準を見直し、「書く」活動は、指導要領のとおりに、小学校3年生以上にした方がよいと考えます。「書く」活動を減らせば、1,2年生は授業を20分で展開でき、教育課程も無理なく組むことができます。また、要録の所見の作成も業務が増え、負担です。他教科と同様に特記する児童のみ総合所見に記載に戻してほしいです。毎年このアンケートを行っていますが、実際に授業を受けている児童や指導している指導者の声が反映されているか疑問です。

あくまでも主観的なイメージではあるが、小学校において英語教育は身近な存在になったと思う。ただ、本市における外国語教育の推進が、結果として4技能のバランスの良い成長に結びついているのか、検証結果を知りたい。他教科を週1時間削ってまで取り組んだ成果がさして見えなければ、その損失は大きい。

英語専科として2校兼務をしている立場から、特例校の取り組みは外国語教育の充実という点で意義を感じています。その一方で、兼務校での授業準備や移動、校務との調整など負担も大きく、継続的に実施していくためには人的配慮や業務量への配慮も必要だと感じています。現場の状況に応じた支援体制が整うことで、より充実した外国語教育につながるのではないかと思います。